

令和元年度 第1回 労働衛生専門委員会 議事録

日時：令和元年5月15日（水） 15：30 - 16：30

場所：文部科学省研究交流センター3階 第5会議室

出席者：

【委員】 笹原委員長（筑波大）、大井委員（筑波大）、堀委員（筑波大）、市田委員（筑波産業連携支援センター）、照井委員（農研機構）、木村委員（産総研）、染谷委員（国土地理院）、佐々木委員（高層気象台）、吉成委員（国環研）、光畑委員（筑波メディカルセンター）

【顧問】 谷顧問（土浦労働基準監督署）

【事務局】 稲葉事務局長、小瀧（記録）

(1) 「第8回生活環境・職場ストレス調査」について

前回委員会からの継続審議。配付資料1「第8回生活環境職場・ストレス調査に向けたWG概要」をもとにWG活動結果と提案についてWGメンバーである堀委員から説明。

○WGからの提案事項は以下の通り

- 継続のテーマ：『世界最先端となる自殺ゼロ都市』を目指す
- 継続の意義：筑波研究学園都市の変遷に伴い、調査を刷新しつつ、自殺予防に還元する。

筑波研究学園都市から最先端の労働者に対する自殺予防を発信していく。

- 予算編成：委託先見直しにより40%の予算規模で効率的・効果的に実施。  
オンラインアンケートツールを用いて、従来の5年×60万＝300万円から3年×40万円＝120万円へ調査費用を削減し、継続していく。
- 調査日程案：2019年度(第8回調査準備)、2020年度(第8回予備調査)、2021年度(第8回本調査、報告書作成)、2022年度(第8回報告書発表、第9回準備)

○前回までの調査法とオンラインアンケートツールの違いとその特徴

- 前回は、IDとパスワードが付された案内紙を送付し、回答はウェブで行った。  
→紙での送付には手間がかかり、システム代もかかることが難点であった。
- オンラインアンケートは案内から回答まで全てネット対応。回答者はアドレスの登録のみで済み、コスト削減が可能。
- 懸案事項は、本ツールが海外のシステムであり、英語から日本語への翻訳が必要になる点。予算案は英語対応の外注も想定した額となっている。WGにおいて無料のお試し版を使ってみたところ、外注を含め対応すれば調査に使用可能と判断している。

○各委員の意見は以下のとおり。

- 調査頻度は3年に1度の方がいいと感じる。とりまとめの苦労があるが、貴重な意見が集約できるのでは。アンケートツールの使用により集計作業の負担が減ることも期待したい。
- 自殺ゼロ都市に向けた取り組みをぜひ進めてほしい。
- 3年間でアンケートのとりまとめは大変であろうが5年に比べれば新しい情報を得ることは重要であり価値がある。
- オンラインアンケートツールを使用することによって、回答者が集計の途中経過をリアルタイムで見ることができれば、他の人も調査に参加しやすくなるのではないか。
- 3年ごとの調査は回答する側にも負担があり、他調査と重ならないことも検討されたい。
- ネットアンケートは回答率が下がることが懸念されるため、回答率が目に見えたらいいのでは。結果がどのように生かされるかが一番大事。

➔ オンラインアンケートツールを使用し、予算を縮小して3年に1回の頻度の調査とする、というWGからの提案を承認し、幹事会・総会に諮っていく。

(2) 「第7回生活環境・職場ストレス調査」データの学術利用について

- 平成31年4月1日付で筑波大学より筑協宛のデータ利用許諾申請あり。
- 労働衛生専門委員会としては承認し、筑協委員会及び筑協幹事会を経て回答する。

(3) (同日開催の) 情報交換会について (開催状況、次回について等)

配付資料2「「情報交換会」概要」、机上資料「「情報交換会」分科会メンバー一覧」に沿って、総合ファシリテーターを務めた大井委員から開催報告。

- 委員、ファシリテーターを含め出席者は25名。
- 第1回(平成30年2月7日)、第2回(平成31年1月30日)と続いて今回は3回目。
- 今回分科会は3班×8～9人を開いた。

○各委員からの意見は以下の通り。

(開催内容・次回開催の是非について)

- 次回もぜひ開催してほしい。継続して参加する方も、前回と同じテーマでも異なるテーマでもどちらでも自分自身の勉強になると感じている。
- 自組織だけでは知りえなかったことも知ることができた。ぜひ今後も続けてほしい。
- 次回も引き続き開催をお願いしたい。一つの組織の中だけでは、課題があってもなかなか解決法がみえない。課題を持ち寄り、他機関の取組を聞くと参考になる部分があった。
- 情報交換会で聞いた内容を職場に持ち帰り、意識改革に取り組める部分もあると感じ

た。ぜひ次回も続けてほしい。

- 複数機関の担当者が集まり、貴重な意見を聞くことが出来るので次回も開催を希望。
- 職場に持ち帰ることのできる意見や取組を聞くことができて大変有意義だった。一つの機関だけでは対応できないことが聞けるので、情報交換会の場は重要。

(委員会との同日開催について)

- 情報交換会と委員会は同日に開催した方が出席の調整がしやすいのでありがたい。
- 今回は都合により出席できなかったが、ぜひ次回もやってもらいたい。開催のタイミングは委員会と同日がよい。

(次回開催内容)

- (笹原委員長) 参加者から次回テーマとして、「働き方改革」について意見があった。労働基準監督署では、働き方改革法案の関係で啓発活動をしている。次回開催時に冒頭10分~20分程度情報提供してもらうことは可能か?
- (谷顧問) 可能です。そのときはお声がけしてほしい。
- (笹原委員長) テーマについては、働き方改革のほかに喫煙なども話題に挙がった。次回の開催内容については事務局と検討の上決定する。

○アンケート速報

- 参加25名中、アンケート回収19件
- 情報交換会が参考になったという方は19件(100%)
- 分科会(チーム)人数が適切だったという方は19件(100%)
- 次回テーマ希望としては、メンタル不調者への対応、ハラスメント対応、病気や介護を抱える職員への対応がそれぞれ9件(23%)で最も多かった。

(次回開催時期について)

- 今回は長期休暇明けに募集締め切りがあり、周知が十分にできなかった恐れがある。
- 次回開催時期については、年末年始・年度末を避ける意味で、2月を想定。

➔ 次回以降も情報交換会を継続開催することは全委員一致。

➔ 次回は2020年2月に委員会と同時開催とし、内容は事務局と調整。

(4) その他

- ・ 第7回調査報告書最終版冊子完成。  
会員機関に向けて各1部か2部配付予定。筑協HPにPDFデータを公開しているため、増刷が必要な場合は電子ファイルを活用していただきたい。
- ・ 次回の委員会は令和2年2月開催に向けて調整する。

以上

《配付資料》

資料1 『第8回生活環境職場ストレス調査』実施に向けたWG概要

資料2 「情報交換会」開催概要

《机上資料》

- 前回（2019年1月30日）委員会議事録
- 筑協「労働衛生専門委員会」委員一覧
- 筑協「労働衛生専門委員会」運営要項
- 第7回生活環境・職場ストレス調査におけるデータ提供及び利用許諾申請
- 「情報交換会」分科会メンバー一覧
- 「情報交換会」参加者アンケート用紙
- 「第7回生活環境・職場ストレス調査報告書」冊子
- 筑協2018、概要冊子・パンフレット